

「第 12 回 大都市交通センサス」の調査体系

- 大都市交通センサスは、下表のとおり 8 つの調査から構成されます。
- 鉄道またはバスを利用する皆様にご協力頂く調査は、利用者調査のみ（①と⑥）です。
- その他は、交通事業者が回答する調査、または事務局より調査員を派遣し行う調査です。

表 調査体系

分類	調査名	調査概要	調査対象者
鉄道調査	① 利用者調査	調査票を配布、利用状況等を郵送またはインターネットにより回答を得る。	鉄道利用者
	訪日外国人公共交通 利用実態調査	調査票を配布、利用状況等をインターネットにより回答を得る。 ※ 郵送による回答は、受け付けない。	鉄道利用者
	② 定期券発売実績調査	定期券発売所別・月別等の定期券発売枚数を調査する。	交通事業者
	③ OD ^{※2} 調査	駅間別・利用時間帯別の旅客流動量を調査する。	交通事業者
	④ 輸送サービス実態調査	駅間別・時間帯別の車両定員、編成数、運行本数を調査する。	交通事業者
	⑤ 乗換え施設実態調査	乗換え関連施設の整備状況や乗換え時間・距離等の実態を調査する。	— ^{※1}
バス調査	⑥ 利用者調査	調査票を配布、利用状況等を郵送またはインターネットにより回答を得る。	バス利用者
	訪日外国人公共交通 利用実態調査	調査票を配布、利用状況等をインターネットにより回答を得る。 ※ 郵送による回答は、受け付けない。	バス利用者
	⑦ OD ^{※2} 調査	停留所間別・利用時間帯別の旅客流動量を調査する。	交通事業者
	⑧ 輸送サービス実態調査	停留所間別・時間帯別の車両定員、運行本数を調査する。	交通事業者

※ 1 国土交通省で手配した調査員が、歩測することにより調査を行います。

※ 2 OD : Origin (出発点) と Destination (目的地) の略。